

令和6年度 芸術科「書道Ⅱ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～E組
教科書	書道Ⅱ（東京書籍）	副教材等	

1 学習の到達目標

<p>書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
--

2 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	1 仮名の学習 ・「高野切第三種」	仮名の書 鑑賞	「高野切第三種」では、直筆を主とする端正な字形を理解する。	学習の記録 作品提出
5	2 行書の学習 ・「蘭亭序」	漢字の書 鑑賞	「蘭亭序」では、気脈の貫通、点画の連続、省略、筆順の変化、収筆の変化などを理解する。	学習の記録 作品提出
6	3 漢字仮名交じりの書 ・実用書式	漢字仮名交じりの書 鑑賞	仮名と行書の用筆を生かして姓名、住所などの実用書式を体得する。	学習の記録 作品提出
7	4 行草書の学習 ・「祭姪稿」 ・草書の基本点画 ・「書譜」 ・「自叙帖」	漢字の書 鑑賞	「祭姪稿」では、重厚な表現や連綿などを理解する。 草書の用筆や省略を理解する。 「書譜」では、左右に躍動するリズム、点画の様々な変化などを理解する 「自叙帖」では、細身の強い線、勢いやリズムの変化、連綿などを理解する。	学習の記録 作品提出
9	5 隸書の学習 ・隸書の基本点画 ・「曹全碑」	漢字の書 鑑賞	隸書の基本点画や蔵鋒、波磔などを理解する。 「曹全碑」では、優雅な結体と伸びやかな波磔などを理解する。	学習の記録 作品提出
10	6 篆書の学習 ・篆書の基本点画 ・「泰山刻石」	漢字の書 鑑賞	篆書の基本点画を理解する。 「泰山刻石」では、縦長の字形、左右相称、同じ太さで書かれる点画や逆筆と蔵鋒などを理解する。	学習の記録 作品提出

11	7 篆刻の学習 ・篆刻の手順 ・草稿と印稿の作成 ・付置と運刀 ・補刀と押印	漢字の書鑑賞	篆刻の手順(草稿～押印)や印面処理を理解する。 姓名印の草稿、印稿の作り方を理解する。 刀の使い方、印材への布置、運刀などを理解する。 印箋の使い方、補刀、押印などを理解する。	学習の記録 印稿提出 作品提出
12	8 創作 ・書き初め	漢字または仮名の書鑑賞	創作として漢字、仮名を題材とした書き初めを通して、臨書と創作の関係を理解する。 日本文化に触れ、書体・書風を自らの意志により選択する。 落款の処理を理解する。	学習の記録 作品提出
1 2 3	9 創作 ・創作	漢字仮名交じりまたは漢字または仮名の書鑑賞	書道学習の集大成として、題材から表現、表装に至るまでを自ら考え、計画し、創作作品を完成させる。	学習の記録 作品提出

3 評価の観点

知識・技能	書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。
思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価規準をもとに、提出物(作品・レポート)、授業態度・意欲・出席状況などを総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

書道Ⅰを基礎として、一人一人の個性を生かし、伸ばしていくことを学習の第一目標とします。
「まなぶ」とは「まねぶ」とも言います。古くて良い物を手本としてまねる臨書が学習の中心となります。臨書は創作のための大切な学習方法です。
書道Ⅱの学習を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てていきます。